

2019年度「AYA世代がん患者が直面する心理社会的問題（痛み）に関する実態調査」の
インタビューにご協力いただいた専門看護師の皆様へ

インタビューへの回答を別研究へ使用することについてのお願い

【研究課題名】

AYA 世代がん患者を支える看護相談における援助モデルの開発

【研究対象】

この研究は以下の方を研究対象としています。

2019年度「AYA世代がん患者が直面する心理社会的問題（痛み）に関する実態調査」においてインタビューにご協力いただいた専門看護師の方

【研究の目的について】

AYA 世代のがん患者のうち意思決定を自分で行っている若年成人に焦点を当て、告知時から直面する発達・心理社会的課題に関して継続的に相談支援を行うための援助モデルを作成することを考えています。臨床で働く看護師が、援助モデルを活用して看護実践を行うことで、AYA 世代のがん患者である若年成人が、自分らしく人生を歩むための看護支援が可能となるといえます。さらに、現在、看護援助が行き届いていない小児、成人期の挟間にあるAYA 世代のがん看護において、小児、成人、双方の立場から看護を考える上で質向上に寄与することができると考えています。

本研究では、告知時から直面する発達・心理社会的課題に関して継続的に相談支援を行うための援助モデルを作成することを目的としています。

研究期間：2020年5月25日～2025年5月31日

【使用させていただくデータについて】

「AYA 世代がん患者が直面する心理社会的問題（痛み）に関する実態調査」へご参加いただいた看護師の方から得たインタビューの回答内容を本研究に使用させていただきたいと思っております。なお、看護師の皆様インタビュー内容を使用させていただきますことは、本学医学部倫理委員会において外部委員も交えて厳正に承認され、大分大学医学部長の許可を得ています。また、このデータを本研究以外の目的で使用することはなく、また他の機関へ提供することはありません。

【使用させていただくデータの保存などに関して】

保存方法：紙資料、電子データ（USB にパスワードを設定）は、大分大学医学部看護学科研究室の鍵のかかるキャビネットに保管します。

保存期間：論文発表後 10 年間保存します。

破棄方法：紙資料はシュレッダーで破棄し、電子データは復元できないように完全に削除します。

【研究対象者の費用負担等について】

本研究を実施するにあたって、対象看護師の費用負担はありません。

【研究資金】

本研究においては、公益財団法人がん研究振興財団 2019 年度（第 52 回）がん研究助成を使用します。

【利益相反について】

本研究は上記の公的資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切用いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人を含みますが、本研究ではこの「利益相反」は発生いたしません。

【研究の参加等について】

本研究に参加するかしないかは皆さんの自由意思です。従いまして、本研究にデータを使用してほしい場合は以下の研究責任者までお知らせください。その場合は、対象データを削除いたします。ご協力いただけなくても、不利益を被ることは一切ありません。

上記以外でも本研究に関する質問などがありましたら、令和 2 年 7 月 31 日までに研究責任者までご連絡をください。

【研究組織】

研究責任者 大分大学医学部看護学科 実践看護学講座 助教 橋本理恵子

【お問い合わせについて】

本研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ケ丘 1-1

電話：097-586-5095

研究責任者：大分大学医学部看護学科 実践看護学講座 成人看護学 助教
橋本理恵子（はしもとりえこ）